

大口町の「防災」をテーマに 地域懇談会を開催しました。

11月17日(土)、24日(土)、「防災」皆さんの備えは万全？ 今、一人ひとりにできること」をテーマに地域懇談会を開催しました。

近年は多くの自然災害が発生しており、いつ自分の身近に発生するかわかりません。突発的な自然災害に



対する備えについて水害を中心に説明し、地域の皆さんと意見交換をおこないました。

Q 自治組織でできている避難・防災訓練が全町的な取り組みになっていくと良いので、働きかけをおこなってほしい。

A 自治組織の三地域の代表者会やそのほか自治組織を担当している地域協働課の職員と情報連携をしながら全町的なものになるよう働きかけをしていきたいと思っています。

Q 災害時に役場ができること、できないことを明確にしたほうがよいのではないかと。

A 町としてはできるかぎりの事はしたいと備えはしていますが、実際、役場が全ておこなうことはできません。「どこまで役場でできます」と示すのは難しいですが、例えば、避難所を開設した際、非常配備員として送れる職員が想定上2から3人になってしまいます。

開設はできるが運営をできるかは正直、十分ではないと思っています。地域での避難所の運営に関して住民の皆さんのお力添え、ご協力をいただけたらと思っています。

Q 学共等を避難所とした際に、町として非常食や備品などの支援はあるか。

A 地域避難所を含め、資機材をどうするかなど、なんらかの支援をしたいと考えています。しかし、非常食については、消費期限等の管理もありますので、補助を出す前に管理体制を整えていきたいと思っています。

Q 戸別受信機の普及率が約50%と少ないので、もっと啓発するべきではないでしょうか。

A 町としては、広報紙などでの啓発、また新たに町民となる転入者にも設置に対する啓発はおこなっております。各家庭に置いていただけのように、今後も啓発を継続してまいります。地域自治組織や行政区からも設置に対するPR等、ご協力願えればと思います。



Q 災害が発生した際にできる救助の訓練(物干竿と服でつくる担架など)など、知識を身につけられるような機会を設けてほしい。

A 出前講座などで人の搬出訓練などをおこなっております。ご要望があれば講演会や行事にご協力させていただきます。

今回いただきましたご意見を踏まえ、今後の防災や災害時の体制などを検討してまいります。